



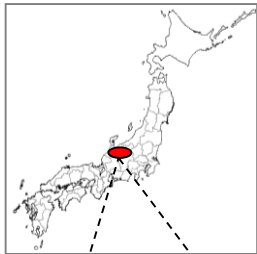
持続可能な付加価値創造都市を目指して  
～SDGs未来都市とやまの取組～

富山市環境部環境政策課 東福光晴

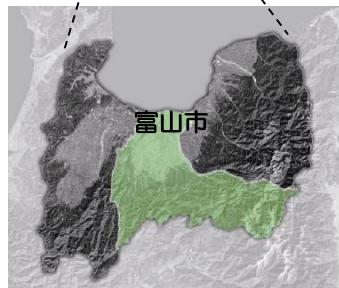
# 富山市の概要

- ・人口は、富山県全体の約4割(418,686人 H27国勢調査)
- ・面積は、富山県全体の約3割(1,241.77km<sup>2</sup>)
- ・海拔0m(富山湾)から2,986m(水晶岳)までの多様な地形
- ・令和2年度一般会計予算額 約1,655億円
- ・森林面積が市域の約7割、包蔵水力・地熱資源量**全国2位**(県単位)

■日本地図



■富山県全図



# 富山市を取り巻く課題



① 人口減少と超高齢社会

⑤ CO2排出量の増大

② 過度な自動車依存による  
公共交通の衰退

⑥ 市町村合併による  
類似公共施設

③ 中心市街地の魅力喪失

⑦ 社会資本の  
適切な維持管理

④ 割高な都市管理の  
行政コスト

⑧ 平均寿命と健康寿命の  
乖離



# 富山市のまちづくりの基本方針 ~コンパクトなまちづくり~

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、  
公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

## <概念図>

### 富山市が目指すお団子と串の都市構造

**串** : 一定水準以上のサービスレベルの公共交通

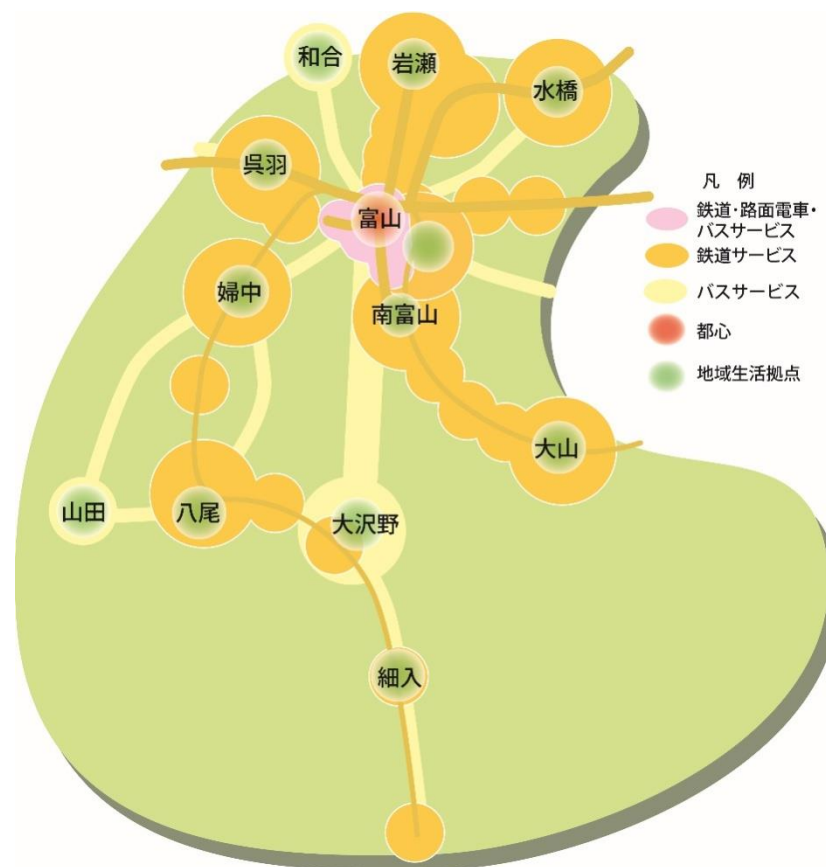
**お団子** : 串で結ばれた徒歩圏

## <実現するための3本柱>

①公共交通の活性化

②公共交通沿線地区への居住推進

③中心市街地の活性化



# 持続可能な付加価値創造都市を目指して ～SDGs未来都市～

環境モデル都市、環境未来都市の取組の蓄積を活かし、**SDGs未来都市**を推進

低炭素社会の実現  
「環境モデル都市」(2008年～)



環境・社会・経済の課題に対応  
「環境未来都市」(2011年～)



「エネルギー効率改善都市」  
(2014年～)



環境面、経済面、社会面の更なる統合的価値向上を図り、**持続可能な付加価値創造都市**を実現

# 富山市SDGsレポート(日・英版)の作成(H30年7月)

IGESとの連携により、ローカルSDGsの取組をVLRとして国連で発表  
ローカル指標をSDGs未来都市計画改定に合わせて、アップデートを実施



# 富山市が目指す「まちの将来像」 ～富山市のSDGs2030ビジョン～

## 【目指す将来像】

### コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現

#### 【取組方針】

都市のかたち：公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの実現

地域生活拠点とのネットワーク機能をもつ「コンパクトシティ」へ

市民生活：ヘルシー&交流シティの形成と質の高いライフ・ワークスタイルの確立

地域が一体となり健康・子育て・教育環境を充実させる「ヘルシー&交流シティ」へ

エネルギー：セーフ&環境スマートシティの実現と地域エネルギー・マネジメントの確立

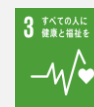
レジリエンスと脱炭素化等の取組みの融合による「セーフ&環境スマートシティ」へ

産業：産業活力の向上による技術・社会イノベーションの創造

市内企業の活性化や新技術の活用等による「技術・社会イノベーション創造都市」へ

都市・地域：多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上

官民連携・ダイバーシティ・国際展開による都市ブランド力を高めた「選ばれる都市」へ



第2次SDGs未来都市計画(2021年3月)にもビジョンを反映





# 公共交通の活性化 ～LRTネットワークの形成～

LRTネットワークの形成により、過度に車に依存したライフスタイルを見直し、**歩いて暮らせるまち**を実現





# 歩くライフスタイルの普及 (Toyama Smart Life Point 事業)

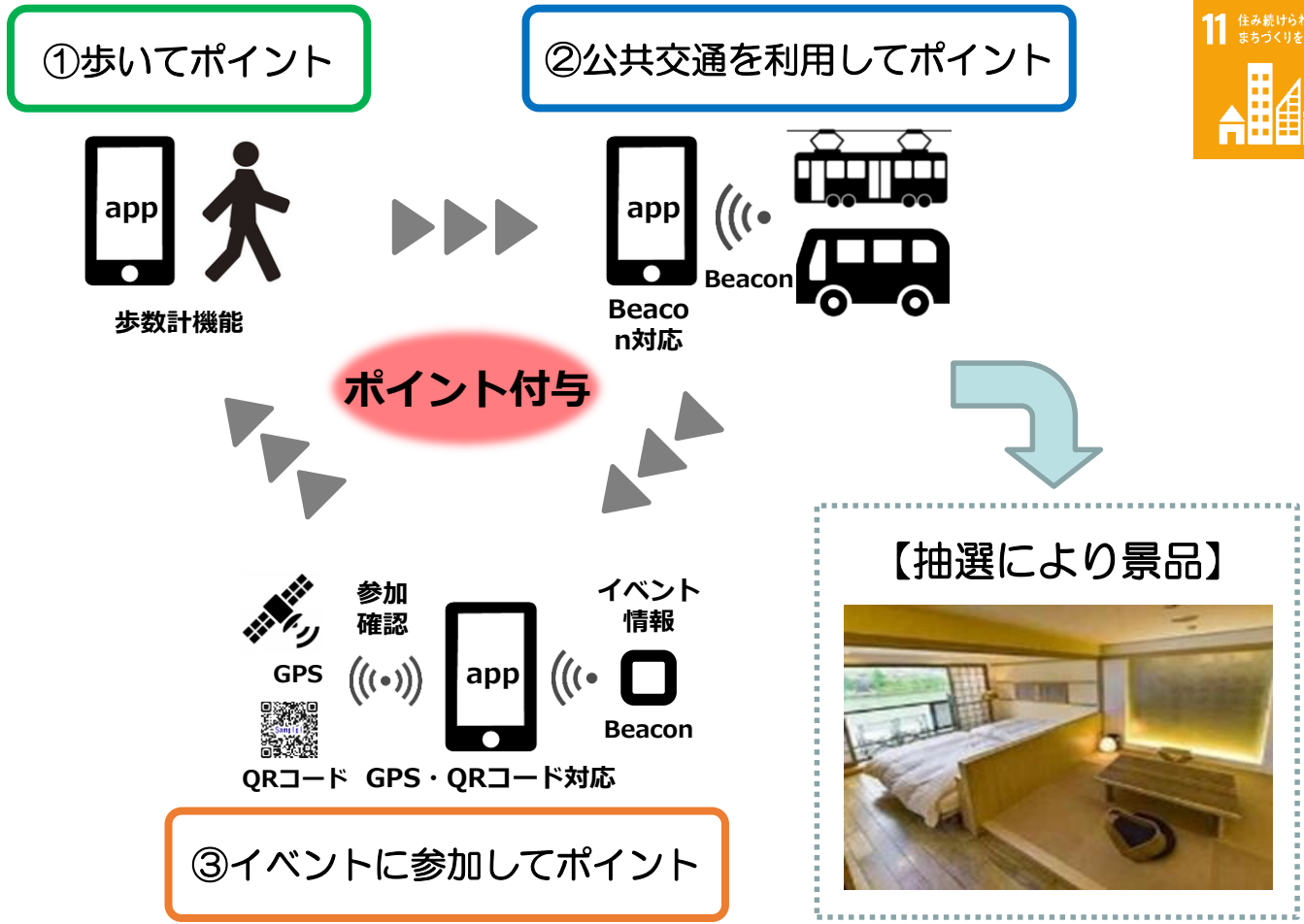
- 歩く行動に対してポイントを付与するスマホアプリを開発
- ポイントに応じた景品をインセンティブとして、歩くライフスタイルを普及

3 すべての人に健康と福祉を

11 住み続けられるまちづくりを



※イメージ図



# とやまシティラボ ～ 地域課題解決型官民連携プラットフォーム ～

富山市全域を「ラボ(実験室)」に見立てた、**地域課題解決型の官民連携プラットフォーム**「Sketch Lab(スケッチラボ)」を設置。富山駅前の市有施設内にオープンイノベーション拠点を整備し、市内外の企業や大学、行政等による**ビジネス交流・共創の場**として運営

## 本市の課題

- 将来的な財政逼迫（迫られる選択と集中）
- 公共領域を担える民間プレイヤーの不足
- ものづくり県ゆえの硬直化した産業構造・企業体質
- 高度情報化による社会構造の変化への対応

## 課題解決の方向性

- “プラットフォーマー”としての行政
- 都市人材との人材循環・交流機会の創出
- センサーネットワーク**を活用した**実証機会**の提供
- オープンイノベーション促進とスマートシティ推進



# 官民連携の動き ～SDGsの推進に関する包括連携協定締結～

社会課題の多様化 ➡ **共感** 異なる組織や立場がSDGsで繋がる  
**パートナーシップの重要性**



北陸電力(R1.7.1)



北陸銀行(R1.8.9)



日本海ガス絆HD(R2.1.21)



三井住友海上火災保険  
(R2.10.2)



富山信用金庫(R3.1.29)

「**持続可能な未来に向けた多世代の学びの場づくり**」など、地域社会の持続的な発展に向けた施策の連携強化

都市の理想を、富山から。



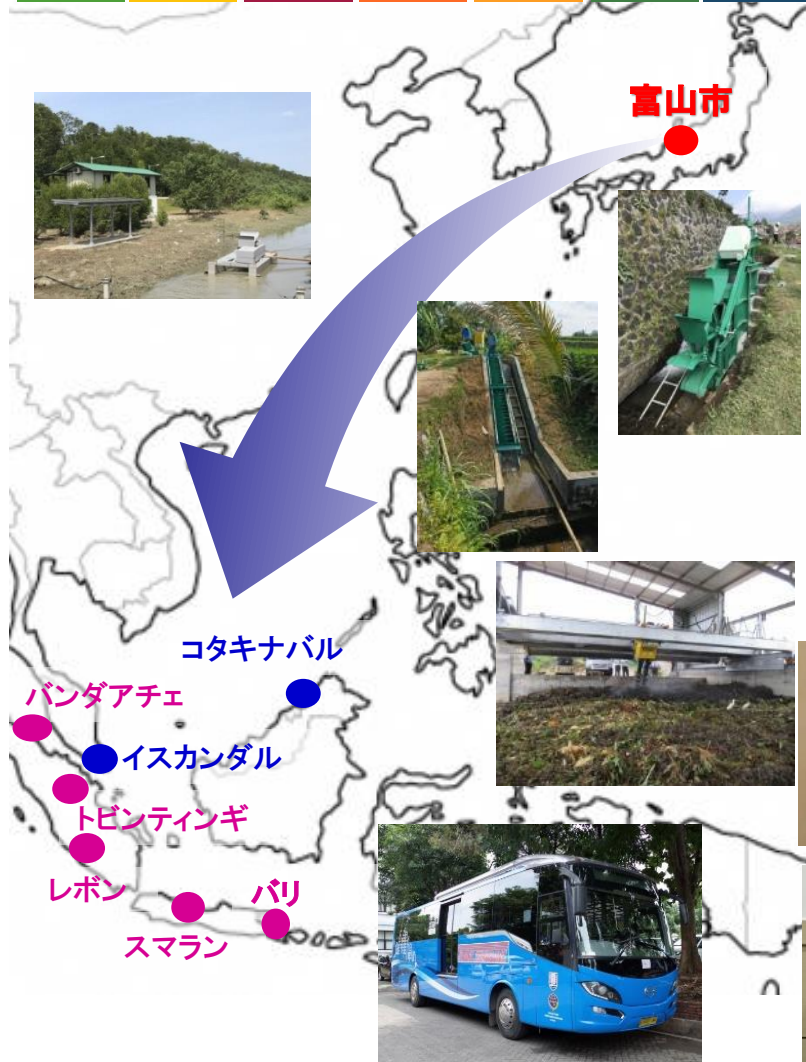
SDGs 未来都市  
TOYAMA



地域が「**ワンチーム**」でSDGsを推進



# 富山市の都市間連携 ～富山市の技術とノウハウの輸出～



バリ州 タバナン県(インドネシア)

中部ジャワ州 スマラン市(インドネシア)

ブクラン州 レボン県(インドネシア)

バリ州 クルンクン県(インドネシア)

イスカンダル開発地域(マレーシア)

コタキナバル市(マレーシア)

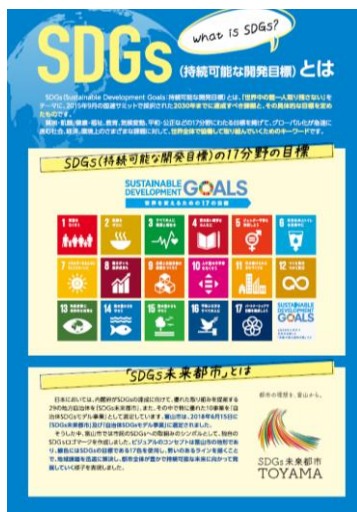
アチェ州 バンダアチェ市(インドネシア)

北スマトラ州 トビンティンギ市(インドネシア)



# SDGs推進サポーター登録 / コミュニケーター養成

SDGsを自分ごととして捉え、実践を行うための「**富山市SDGsサポーター**」の登録を2019年度から開始



SDGs関連イベントその他の情報提供や、各自の具体的な取組を集約し、SDGs優良事例としてサポーター間で共有

\* 2020年12月現在 約700名、120団体・企業が登録

地域・職場等でSDGsを広め、自ら実践する「**富山市SDGs推進コミュニケーター**」養成講座を2020年度から開始



コロナ対策として、会場の**感染予防対策**の実施や**オンライン**での受講を併用

\* 2021年1月現在 52名を認定

# ゼロカーボンシティ宣言 ～「脱炭素なまち」の形成～

## 富山市 ゼロカーボンシティ宣言

本市はこれまで、将来市民にも責任の持てる、持続可能な都市構造への転換を推進するため、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」に取り組み、その取組みを発展させ、環境モデル都市、環境未来都市、SDGs未来都市等の選定を受けてまいりました。

一方、近年は急速な気候変動の進展により、世界的には豪雨・洪水・台風をはじめとする災害の激甚化、本市においても令和3年1月の記録的な大雪等の異常気象が多発しており、市民の安心・安全な日常生活が脅かされ、気候変動対策の強化が求められています。

また、昨今の国の動向としては、地球温暖化対策推進法の改正に際して、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを法定目標とする方針が決定されるとともに、令和2年12月に策定された「グリーン成長戦略」においては、温暖化対策を経済成長の制約やコストとする時代は終わり、積極的な温暖化対策の推進が「経済と環境の好循環」を創出する旨が示されています。

こうした国内外の動向を踏まえ、本市では、包括的なエネルギー政策の推進に向けて、令和3年3月に策定する「富山市エネルギービジョン」において、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロに向けた方針・施策等を定めるとともに、「第2次富山市SDGs未来都市計画」においても、目標のひとつとして、コンパクトシティ戦略と包括的なエネルギー政策の融合による「経済成長と環境負荷の低減の同時実現」を通して、地域活性化・地方創生に貢献する旨を掲げております。

本市は、グリーン社会の実現に向けて、「コンパクトシティのネクストステージ」を見据え、環境政策のさらなる強化により、持続可能なまちづくりの深化を図るため、本日ここに「ゼロカーボンシティ」を表明いたします。

令和3年3月1日 富山市長 森 雅志

都市の理想も、富山から。



2020年10月、菅首相による「2050年カーボンニュートラル(CO2排出実質ゼロ)」の表明



全世界でカーボンニュートラルに向けた動きが加速する中、富山市は「コンパクトシティのネクストステージ」として、環境政策のさらなる強化により、持続可能なまちづくりの深化を図るため「ゼロカーボンシティ」を表明(2021年3月1日、県内5都市目)

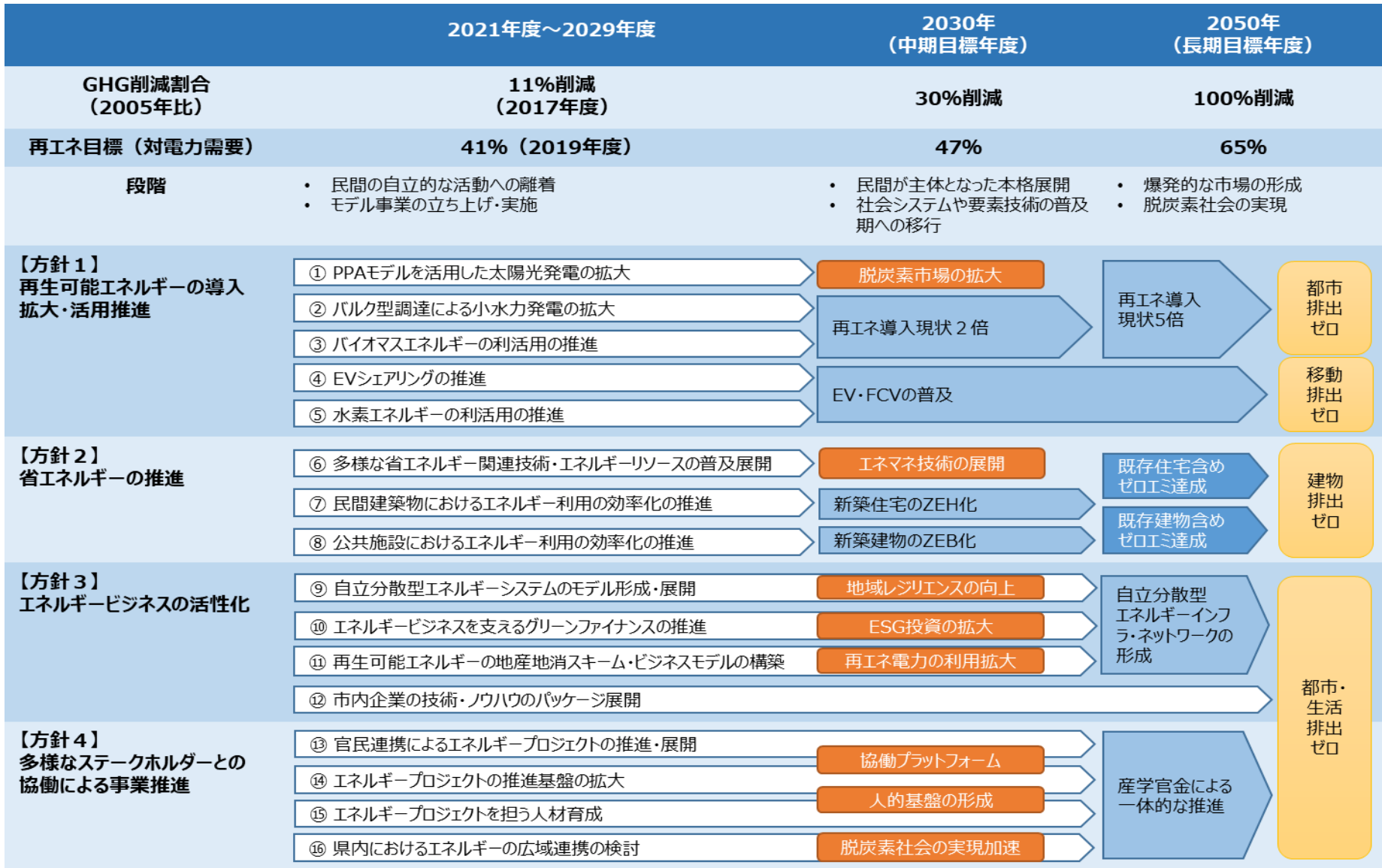
ゼロカーボンシティの表明と同時に、「富山市エネルギービジョン」を策定し、脱炭素なまちの実現に向けて、地域が一体となった取組みや多様なステークホルダーとの連携を加速させる



# 富山市エネルギービジョン ～ゼロカーボンの実現に向けたロードマップ～



コンパクトシティ富山  
COMPACT CITY TOYAMA



# SDGsは、「新たな世界」への転換

都市の理想を、富山から。



SDGs 未来都市  
TOYAMA

## 行動の10年

Decade of **Action**

SDGsを市民からの能動的なアクションとして取り組むためのローカルレビューが重要

